

景況調査

第16回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細および過去の調査結果は調査レポート(<http://www.sfsi.co.jp/>)をご覧ください。

1. 調査の目的

山形県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

2. 調査の方法

オンライン・アンケート (894社*)

※有効回答数462社 (回答率51.7%)

3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

- (「悪い」と回答した企業の割合)

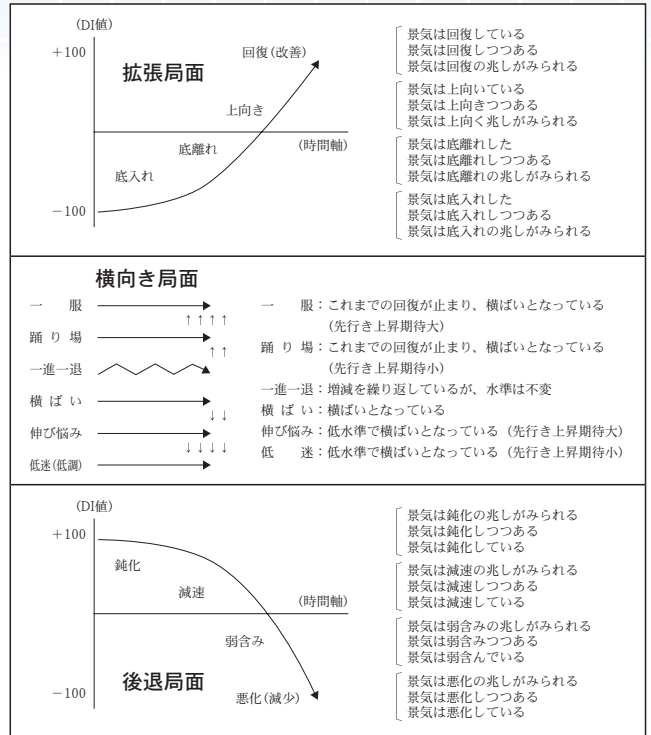
4. 調査期間

平成20年8月1日(金)~15日(金)

5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

6. 基調判断用語の凡例



景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前年同期比)を5段階に分けて図解したものの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

(前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

(今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

■ 県内企業の景気動向

現状判断：悪化しつつある。

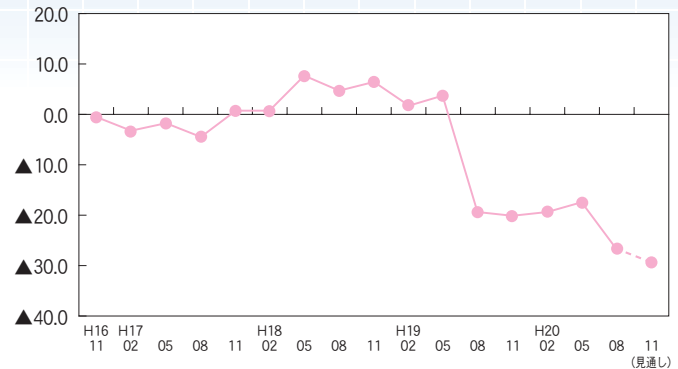
業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲26.8となっており、前回より9.3ポイント低下するなど、悪化しつつある。

昨年の末頃から売上高DI値の下落に歯止めがかからず、全体的に需要不足の傾向が拡大している。今期の売上高DI値は4.8ポイント低下して▲10.8であった。

来期の見通し：先行き不安感が先行。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が2.6ポイント低下して▲29.4となるなど、先行き不安感が先行している。

自社業況DI値の推移（前年同期比）



年	月	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H20	05	▲17.5	▲58.5	▲6.0	▲21.5	▲6.7	▲22.9
	08	▲26.8	▲60.2	▲10.8	▲26.2	▲7.6	▲24.0
	11 (見通し)	▲29.4	▲56.3	▲21.6	▲31.6	▲7.6	▲32.7

■ 業種別の動向

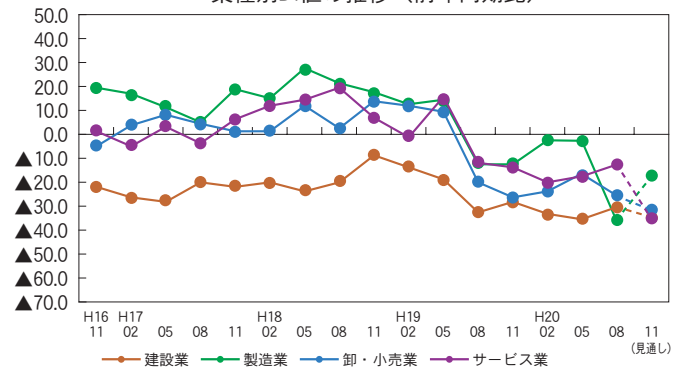
現状判断

業種別では、製造業の業況DI値（前年同期比）が▲35.7となっており、32.9ポイントの大幅な下落となったほか、卸・小売業でもDI値が9.3ポイント下落して▲25.8となった。一方、建設業とサービス業はDI値が若干改善するなどしたが、おおむね低調に推移している。

来期見通し

今期大幅な落ち込みを見せた製造業はDI値が▲17.8となっており一進一退の動きをみせているが、総じて減速感は強まっている。また、それ以外の業種では業況DI値がマイナス30.0ポイント台となっており、先行き不安感が先行している。

業種別DI値の推移（前年同期比）



年	月	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H20	05	▲35.5	▲2.8	▲16.5	▲17.4
	08	▲30.5	▲35.7	▲25.8	▲12.8
	11 (見通し)	▲34.8	▲17.8	▲31.9	▲35.3

■ 地域別の動向

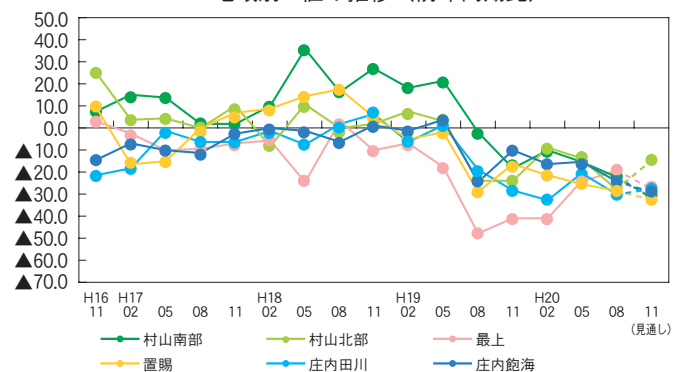
現状判断

地域別では、最上を除く5地域で前回調査時点と比べて業況DI値（前年同期比）が低下するなど、各地で景気悪化の兆しがみられる。特に、製造業の業況悪化を受けて村山北部、置賜、庄内田川など製造業の集積が進んでいる地域ではDI値の低下が目立った。

来期見通し

業況の先行き見通しは、村山北部と庄内田川の両地域でやや回復期待感が見られるなど一進一退の動きを見せているが、それ以外の地域では総じて先行き不安感の高まりがみられるなど、基調として減速感が強まる見込み。

地域別DI値の推移（前年同期比）



年	月	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H20	05	▲15.2	▲13.8	▲24.3	▲26.1	▲20.5	▲15.6
	08	▲22.0	▲27.9	▲19.5	▲28.6	▲29.9	▲24.0
	11 (見通し)	▲31.6	▲14.8	▲27.8	▲32.4	▲27.6	▲29.2